

意見書案第 1 号

原発からの撤退と自然エネルギーへの転換を求める意見書

上記意見書案を別紙のとおり提出いたします。

平成23年6月16日提出

提出者	長沼町議会議員	中 崎 正 司
賛成者	〃	藪 田 享

長沼町議会議長 駒 谷 広 栄 様

原発からの撤退と自然エネルギーへの転換を求める意見書

東日本大震災にともない、東京電力福島第一原子力発電所が引き起こした大事故は、いまだに収束のめどが立たない深刻な事態に陥っています。

今回の大事故で、原発は多重防護の対策がとられているため安全だという神話が崩壊し、事故発生以来、泊原発を抱える北海道民は原発事故に対して不安と危機を感じています。

また、今回の原発事故は、地震や津波で電源供給などが断たれ、冷却機能を失えばコントロールが効かなくなる原発の危険性が改めて浮き彫りになり、このことは、原発に将来のエネルギー供給を託すことは難しいことを強く示唆しています。

よって国においては、原発からの撤退を明確に宣言するとともに自然エネルギーへの計画的転換に向け早急に取り組むよう強く要望します。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出します。

平成23年6月16日

長沼町議会議長 駒谷広栄

提出先

内閣総理大臣
文部科学大臣 各通
経済産業大臣